

令和2年度 年間指導計画を見直す際の参考資料

中学校 第2学年 「音楽（教育出版）」	(歌)…歌唱教材 (器)…器楽教材 (鑑)…鑑賞教材 (創)…創作 (共通)…共通教材
新型コロナウイルス感染防止のための配慮として、学校再開当初は、歌唱や器楽の指導を避け、鑑賞や音楽づくりの学習から開始できるよう、題材の順番を入れ替えてあります。学校の実情に応じて、ここに示された方法以外にも、柔軟な入れ替えができます。(週数は目安です。歌唱や器楽の実施については注意事項を参照してください。)	「鑑賞」や「創作」の題材を示しています
	本学年で扱う「共通教材」を示しています

25時間（70%）

*本資料は、題材の補的な扱いや随時行ったり毎回取り入れたりする内容を、それぞれの題材の主要部分に取り入れた時数で設定しています。そのため、それぞれの題材が年間指導計画に示されている時数と同じ場合は、指導内容を減らしたり変更したりせずに実施することができます。(年間指導計画よりも少ない時数に設定された題材については、時数削減のための取り組みを考えます。)

週	指導事項	題材名	教材名等	時間数	留意点
1 2	鑑賞—アイ	ユニットB 旋律の現れ方や重なり方を理解して	(鑑)小フーガ短調 (鑑)二声のインベンション	2	○鑑賞では動画やDVD等を活用し、生徒に気づかせたいポイントを明確にして指導の工夫を行う。 ○曲全体を通して鑑賞する時間を確保する。
3 4	鑑賞—アイ 創作—アイ、ウ	ユニットC 音楽の構成の仕方を理解して	(鑑)交響曲第五番 (創)動機を生かした旋律をつくろう	3	○鑑賞では動画やDVD等を活用し、生徒に気づかせたいポイントを明確にして指導の工夫を行う。 ○曲全体を通して鑑賞する時間を確保する。 ○創作では、必要に応じてワークシート等を工夫することで、活動を精選する。
5 6	鑑賞—アイ	ユニットE 雅楽の豊かな表現を味わいながら	(鑑)雅楽「越天楽」 ・Let's Try!「越天楽」を体験しよう (鑑)日本と世界をつなぐ音 (鑑)歌舞伎「勧進帳」 ・Let's Try!「歌舞伎」を体験しよう	2	○鑑賞では動画やDVD等を活用し、生徒に気づかせたいポイントを限定した指導の工夫を行う。 ○曲全体を通して鑑賞する時間を確保する。
7	器楽—アイ、ウ		(器)さくらさくら	2	○箏の数が限定されることも予想されるので、演奏の機会が確保できるよう指導の工夫を行う。
8 9	鑑賞—アイ	ユニットG オーケストラの豊かな表現	(鑑)「シェエラザード」から第二章 (鑑)組曲「展覧会の絵」から	2	○鑑賞では動画やDVD等を活用し、生徒に気づかせたいポイントを明確にして指導の工夫を行う。 ○曲全体を通して鑑賞する時間を確保する。
10 11	鑑賞—アイ (器楽—アイ、ウ)	ユニットH 音楽の構成を工夫して	(器)構成を工夫して筆で表現してみよう。 (鑑)どんな特徴があるかな「さくら変奏曲」	2	○器楽演奏は後半の題材と合わせて行う。 ○鑑賞では動画やDVD等を活用し、生徒に気づかせたいポイントを明確にして指導の工夫を行う。 ○曲全体を通して鑑賞する時間を確保する。
<「後半へ」の教材はこれ以降に随時取り入れる>					
12 13 14	歌唱—アイ、ウ	ユニットA 歌詞の内容や全体の響きを生かして	(歌)生命が羽ばたくとき (歌)語りあおう (歌)You Can Fly!	3	○範唱や範奏CD等を活用し、活動を精選して取り組む。
15 16 17 18	歌唱—アイ、ウ 器楽—アイ、ウ	ユニットD 歌詞と音楽の関わり	(共通)浜辺の歌 (共通)花の街 (共通)早春賦 ・Let's Try! 指揮をしてみよう ・Let's Try! 郷土の民謡や芸能を調べてみよう ・Let's Try! 民謡を楽しもう (器)浜辺の歌 (器)もみじ	4	○共通教材については、季節に合わせて時期を変更し、心の中で歌うなど、声を出さない指導の工夫をする。 ○歌唱や器楽の題材は、実態に応じて選択して指導する。 ○「指揮をしてみよう」は常時活動等で扱う。 ○「郷土の民謡や芸能を調べてみよう」は家庭学習も取り入れて対応する。
19 20 21	歌唱—アイ、ウ	ユニットF 声部の役割を生かして	(歌)夢は大空を駆ける (歌)この星のどこかで (歌)大切なもの (歌)故郷(二部合唱)	5	○学校の実態に応じて教材を選択して行う。 ○CDの範唱に合わせて歌ったり、ポイントを絞った指導を行ったりする。

* 国歌「君が代」の指導については、儀式や行事等の指導の中で、各校の実態に応じて学習内容や扱い時数を設定します。

※注意事項※

通常の歌唱指導については、新型コロナウイルスの感染拡大の状況をみながら、教室でマスクを外せる状況になった段階で実施を考えます。器楽指導（リコーダー等を使用する場合）も同様とします。

歌唱指導を行える状況になった際は、教室を十分に換気をした上で、CD等の範唱を聴きながら心の中で歌うことや口ずさむことを取り入れたり、範唱を聴いて曲の雰囲気や旋律等を味わったり、声の大きさや出し方に注意しながら体の向きを変えて歌ったりするなどの活動を取り入れることも考えます。

また、器楽指導では、衛生管理に注意するとともに、おもに打楽器や鍵盤楽器、ギターや箏などの弦楽器や和楽器等を扱います。共用の楽器を扱う際は、楽器に番号をつけて使用した生徒が限定できるようにするなどの配慮を行います。リコーダー等を扱う状況になった際は、教室の座席配置を工夫したり、体の向きを変えたり、音を出さずに運指を確認する活動を取り入れたりするなど、学習を工夫することも考えます。

※時間数の精選方法（例）

○題材の目標を明確にし、達成に向けて活動を工夫する。

新型コロナウイルス感染症対策にともなう休校措置を受け、各題材に割り振られる時数がおおむね1～2時間程度削減されています。そのため、各題材で設定する目標を明確にし、その目標を達成するための活動を精選することで対応します。（3時間以上の削減がある場合は、題材の中の曲を選択して扱うことも考えられます。）

・歌唱及び器楽について

CDやDVD等の視聴覚教材を活用し、範唱や範奏に合わせて歌ったり演奏したりすることで、歌唱や器楽指導の簡略化を図ったり、譜読みの時間削減をしたりするなど、歌唱や器楽にあてる指導時間を軽減することができます。場合によっては、歌唱や器楽の演奏について、家庭学習で対応することも考えられます。

・鑑賞について

CDやDVD等の動画や視聴覚教材を活用する際は、視聴させたい部分を取り出して鑑賞できるように工夫したり鑑賞する視点を焦点化したりすることで、鑑賞の指導時間を軽減することができます。なお、曲の全体を通して鑑賞する機会を確保できるよう、時間の配分に配慮することも考えられます。

・創作について

創作では、教科書の図やワークシートを活用し、短時間で創作の活動が行えるようにしたり、一部の活動を家庭学習で取り組めるようにしたりすることもできます。なお、新型コロナウイルス感染症対策を十分に行った上で、音に出して確かめたり表したいイメージと音を関わらせたりする活動を、状況に応じて取り入れていくことも考えられます。

なお、新型コロナウイルス感染症対策を十分に行った上で、協働的な活動を取り入れることも考えられます。

（参考：令和2年5月1日付文部科学省通知）

新型コロナウイルス感染症対策としての学校の臨時休業に係る学校運営上の工夫について感染のリスクが高いと考えられる活動の取り扱いについて、「感染拡大防止の観点からリスクの高い学習活動を行わないこと」に、音楽科の学習活動として「音楽科における狭い空間や密閉状態での歌唱指導や身体接触を伴う活動」が取り上げられました。